

学校だより



チャレンジ豊田っ子

令和6年3月6日
中野市立豊田小学校
特別号

令和5年度 学校評価アンケート結果から

豊田小学校自己評価委員会

保護者アンケート・児童アンケート・職員自己評価とも豊田小ランドデザインに基づき、評価項目をそろえて実施いたしました。また Google フォームを使って、オンラインでのアンケート実施をしました。

回答率は、児童は95%（112人中106人回答 ※欠席者を除く）、保護者は85%（112人児童数中95人回答 ※家庭数88）となっています。本年度は、保護者の方の回答率が、昨年度より上がりました。メールシステムを使って、回答への協力を呼び掛けたことにより、回答率が上がったことが考えられます。また、オンラインでの回答も2年目となり、スムーズに回答できるようになったことも影響していると考えられます。今後も、アンケートの実施方法の周知を含め、回答率が上がるよう工夫してまいります。

アンケートの考察

【基本的な生活習慣について】

①「早寝早起き、朝ご飯」(問2)に関して

- ・ 「そう思う・だいたいそう思う」を合わせた割合は保護者88.4%、児童は89.7%と高い割合となっています。それに対し職員は72.8%となっておりますが、昨年度は40.0%であったのに比べ大幅に上がっています。保護者の皆様が、ご家庭で登校前の子どもたちの体調などについて配慮していただいていることにより、精神的な不安定さやイライラによる周囲とのトラブル等が減ってきており、それが、職員の実感にも結び付いていると考えられます。
- ・ 生活に関しては、ゲーム機やタブレット等の端末を使う機会が増えることの影響などにより、生活リズムの乱れが考えられます。保健指導では生活習慣の改善について考える学習をしていますが、タブレット等の使用ルールについてご家庭でも話し合っていただいています。今後とも、ご家庭と連携して取り組んでまいります。

②「家庭や地域で進んで挨拶」(問3)に関して

- ・ 「そう思う・だいたいそう思う」を合わせた割合は、保護者73.7% 児童92.4%でした。しかし、同じ内容のアンケートを職員に実施したところ、「どちらでもない」という評価が多く、これは自分から進んで挨拶できる児童もいますが、一方で挨拶をされてから小さな声で返す、またはなかなか返事を返すことができない児童もあり、評価が分かれたためだと考えます。児童の評価が高いことを考えると児童自身は挨拶ができていると感じていることから、あらためて「自分から進んで」「相手に聞こえる声で」など気持ちの良い挨拶ができるよう、挨拶することの意義についても子どもたちに伝えていく必要があると考えています。引き続き、保護者の皆様と協力しながら取り組んでまいります。

【学力向上について】

①「学習に対する理解・身についているか」(問10)について

- ・ 「そう思う・だいたいそう思う」の計が、保護者74.7%、児童90.6%、職員81.8%となっており、児童は非常に高い数字を示しています。また、保護者、職員とも昨年度よりも評価が上がっており、ドリルタイムの確

実な実施と内容の工夫、また従来のドリルだけでなくタブレットドリルの導入により個の理解度や進度に合わせた反復学習ができるようになったことが「身についている」という実感に結び付いていると考えられます。今後とも学習内容が確実に身についているかどうかについて、児童自身が自己評価できるシステムを取り入れながら、基礎基本の定着を進めてまいります。



②「興味を持ったことについて進んで学習しているか」(問11)について

- ・ 児童の回答「そう思う・だいたいそう思う」の計は87.7%です。それに対し、保護者は68.4%、職員は72.7%となっています。子どもたちが自ら課題を持ち探究する授業の在り方について、本年度も研究を進めてまいりましたが、さらに主体的に学ぶ児童の姿を目指して授業改善に取り組んでいきます。

③「家庭学習への取り組み」(問12)について

- ・ 「そう思う・だいたいそう思う」が児童は86.8%、保護者は68.4%、職員は90%となっており、評価が分かれています。タブレットの持ち帰りによる家庭学習も始まり、保護者の皆様から家庭での学習の取り組みの様子が確認しにくくなっていることも考えられます。家庭学習については、来年度に向けて豊田小・中学校9年間を見据えた手引きを検討しております。宿題と家庭学習の違いや、取り組む内容、時間の目安など、児童生徒や保護者の皆様にもわかりやすいものを作成したいと考えております。家庭学習の取り組みについても、ご家庭との連携によりさらに進めていきます。

【学校生活について】

①「学校やクラスは居心地がいい(居場所になっている)」(問13)に関して

- ・ 児童・保護者・職員ともに、「そう思う・だいたいそう思う」が80%を超えています。特に、昨年度と比べ、保護者の方の評価が5ポイント、児童の評価が10ポイント上昇しています。一方で「どちらかといえばそう思わない・そう思わない」が児童8.5%、保護者が6.4%となっており、学校やクラスを居場所として不安に感じている児童がいることが分かります。学校では SOS シートによるアンケートと個別面談や、スクールカウンセラーによる個別面談を定期的に行っています。今後も学校生活に不安を感じている児童に寄り添ったサポートができるよう、チームで対応していきたいと考えています。

②「安全対策」(問14)に関して

- ・ 「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答していただいた保護者の皆さんが74.7%となっておりやや低い傾向にあります。学校では長期休み明けの集団登校や冬期の登校について、実際に児童の登下校の様子を職員も一緒に確認しながら具体的な指導を心がけています。また登下校やバス乗り場などの見守りボランティアでは新たに登録していただいた方もいて、多くの地域の方に児童の安全を見守っていただいております。避難訓練については、年3回の地震、火災を想定した訓練に加え、来年度からは防犯に関わる訓練も実施していく予定です。今後とも子どもたちの安全を守るよう取り組んでまいります。

③「学校は困ったことや心配なことがあった時に相談しやすい」(問15)に関して

- ・ 「そう思う・どちらかといえばそう思う」が保護者61.1%と低い傾向にあります。本年度は1学期末、2学期末に懇談会を設け、保護者の皆様と担任が懇談できる機会を2回としました。しかし、日常的な心配事について相談しにくいと感じている保護者の皆様もいらっしゃるから、懇談会の機会だけではなく、学校からお子さんの気になる様子や伸びてきた様子などをできるだけお伝えできるよう工夫していきたいと考えてます。また保護者の方が相談しやすいよう相談窓口等の周知徹底を行ってまいります。



【心と体を育むについて】

①「認め合う学級づくり」(問5)に関して

- 児童は「そう思う・だいたいそう思う」が95.3%という回答でしたが、保護者は76.9%でした。学校では年2回のQUテスト等により、学級の様子を客観的にとらえ、それをもとに研修を行ってよりよい学級づくりについて学び合っています。今後とも学級づくりを工夫していくとともに、複数の職員で児童の指導に当たる指導体制の工夫などを通じて、児童の様子を丁寧に見守っていけるようにしていきたいと考えています。

【地域に学ぶについて】

①「地域講師・ボランティアの皆さんとの学習」(問7・8)に関して

- 保護者、児童、職員のいずれも高い評価となりました。本年度も様々な活動をボランティアの方にお支えいただき、行うことができました。教室だけでは学ぶことのできない貴重な学びを提供していただき、児童も大変楽しみにしております。今後とも地域の皆様のご協力をいただきながら、地域に学び、地域を大切に思う活動を充実していきたいと思ひます。

★CS運営委員の皆様からのご意見★

アンケート結果について、第3回コミュニティスクール運営委員会にて運営委員の皆様にご説明し、ご意見をいただきました。いただいたご意見を大切に、今後も安心、安全な学校生活を目指していきます。

- 児童、保護者、教職員、それぞれの評価の違いが明確にわかるので良いと思います。また差の大きかった事象をしっかり分析されていると思います。相互に状況を共有しながら進めたいと思います。
- 子どもたちはおおむね、楽しく充実した学校生活が送れているようで、日頃の先生方のご尽力に感謝いたします。その中で少数でも「そう思わない」「居場所がない」「相談のできる人がいない」と回答した児童がいるということ、一人で複数そういった回答を選んでいる児童がいたら、その子が自己肯定感を失わないよう、見守り、声かけ、具体的な支援の積み重ねをお願いします。
- 保護者の方との連携は、信頼関係の中で培われていくものであるため、アンケート結果を掘り下げて、「なぜ相談しにくいのか」「どのように対応すれば相談しやすい学校になるか」を考えていく機会を、これからも折に触れ、取っていくことが大切かと思ひます。
- 犬の散歩や畑仕事をしていると、子どもたちが大きな声で、挨拶をしていきます。質問をすると、はきはきをした話しぶりで会話がはずみます。素直でおおらかな児童が育っていると思ひます。
- 問3について、保護者、教職員が共に低い評価であることが気になりました。児童、生徒が自ら進んで挨拶を行うための指導が必須と考えます。地域の方は子ども達から挨拶をされるたびに元気をもらっています。
- 全体的に良い評価だと思いますが、学校での出来事の一部がなかなか保護者に伝わりにくい部分もありそのようなので、伝える方法、内容等考えていただければありがたいです。
- 問1, 問13に関して、「どちらかというと思う」「そう思わない」で数人の児童がいるが、先生方の知らないところで、クラスや先生になじめないところがあるのか、自分で進んで入っていけないのかちょっと気になります。寄り添ったサポートをお願いします。
- 挨拶は少人数、一人でいるときは特に声が小さかったり自分から挨拶が苦手な子もいると思ひます。
- 先生方による子どもたちへの配慮、気遣いにより、児童アンケートについては全体的に良い結果であると感じました。一方で保護者のとの現状における認識に差が生じているように感じました。特に「困ったことや心配なことがあった時に相談しやすい」という項目については、約半分の保護者がネガティブな思考があり、家庭との距離を縮める活動は必要ではないかと思ひました。

項目	保護者アンケート 回答数 95人/112人 (85%)			児童アンケート 回答数 112人/106人 (95%)			職員アンケート 回答数 11		
	1+2の割合	4+5の割合	6+7の割合	1+2の割合	4+5の割合	6+7の割合	1+2の割合	4+5の割合	6+7の割合
1 お子さんは、楽しく学校に通っている。	47.4	41.1	5.3	32	3.0	88.5	89.6	89.9	90.9
2 お子さんは、早寝早起きを、毎日朝ご飯を食べて登校している。	49.5	38.9	5.3	2.1	4.2	88.4	89.7	72.8	91.1
3 お子さんは、家庭や地域で、自分から進んでかまそくをしている。	28.4	45.3	14.7	10.5	1.1	73.7	92.4	91.1	91.1
4 学校は家庭と連携して子供たちの生活習慣の確立に取り組んでいる。	22.1	57.9	9.5	4.2	6.3	80.0	94.3	91.1	90.9
5 担任は、自分やお友達の良い姿を互いに認め合っている。	43.2	33.7	7.4	10.5	5.2	76.9	95.3	91.1	81.8
6 お子さんは、友達に対して優しく振舞っている。	27.4	62.1	8.4	2.1	0.0	89.5	94.3	91.1	100.0
7 学校は、よきよきと自然・文化・文脈から学ぶ機会を積極的に取り入れている。	33.7	55.8	10.5	0.0	0.0	89.5	95.3	91.1	90.9
8 学校は、ボランティアと協力して教育活動を進めている。	33.7	47.4	16.8	2.1	0.0	81.1	89.6	91.1	90.9
9 学校は、学校より、ホームページ等で学校の様子をお知らせしている。	34.7	44.2	13.7	3.2	4.2	78.9	85.8	91.1	100.0
10 お子さんは、学習した内容を理解したり、基本的な内容を身につけている。	20.0	54.7	16.8	6.3	2.1	74.7	90.6	91.1	81.8
11 お子さんは、興味を持って学ぶことについて進んで学習しようとしている。	22.1	46.3	24.2	5.3	2.1	68.4	87.7	54.5	72.7
12 お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	18.9	44.2	14.7	13.7	8.4	63.1	86.8	63.6	90.9
13 学校は、お子さんが持ち寄り学習する環境を整えている。	26.3	58.9	8.4	5.3	1.1	85.2	85.8	54.5	81.8
14 学校は、後下校の安全対策や、安全防犯教育に取り組んでいる。	24.2	50.5	13.7	4.2	7.4	74.7	96.2	27.3	100.0
15 学校は、困ったことや心配なことがあったときに相談しやすい。	27.4	33.7	24.2	10.5	4.2	61.1	87.7	54.5	81.8